



# 黎明

同窓会だより れいめい

山形県立鶴岡中央高等学校

第 22 号

発行  
山形県立鶴岡中央高等学校  
黎明同窓会  
鶴岡市大宝寺字日本国410  
0235 (25) 5723

印刷  
杉葉堂印刷  
0235 (22) 5538

## 鶴岡中央高等学校 黎明同窓会総会のご案内

期 日: 2019年8月25日(日) 午後2時  
会 場: 東京第一ホテル鶴岡  
会 費: 懇親会参加 **4,000円**  
当日年会費 **2,000円** も宜しくお願ひします

申し込み: (8月15日まで同窓会事務局へ)  
ハガキ または FAX (0235-25-5733)  
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国 410  
鶴岡中央高校内同窓会事務局 宛 TEL.0235-25-5723



～ 総会当番は〔中央〕平成12年3月卒・平成21年3月卒の皆さんです～



20周年記念式典の様子



### 三十周年記念事業と 同窓会

幹事長 半澤 正昭

平成三十年十月二十六日、鶴岡中央高等学校は創立二十周年を迎え、荘銀タクト鶴岡を会場に記念式典が挙行された。そして、同窓会も記念事業の一環として、中央高校としては初めての同窓会会員名簿を発行した。

名簿の発行にあたっては、これまでも幾度か望まれていたものの、名簿が個人情報の宝庫であることから、その発行に抵抗感が根強く、発行までに至らなかった。



こうした中、この度名簿を発行したのは、創立二十周年を契機に旧家政高、旧西高、旧温海校の歴史を継承する本校の歴史遺産として意義があり、同窓生間の連絡、通信手段への寄与、同窓生の多様な人材の発掘や本校教育、その他の活動への協力要請等に期待できること等からである。



そのため、発行にあたっては、懸念された個人情報の保護に配慮するとともに、個人情報の保管管理等に注意を払っている。



### 会長の挨拶

富樫 洋子

会員の皆様様に於かれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

昨年の十月二十六日には、創立二十周年記念行事を執り行いました。新しくなった市民会館「荘銀タクト鶴岡」で生徒始め来賓や関係者千名弱が参加して、生徒達のアイデア等を取り入れ実行委員のみならず参加者全員で創り上げ成功裡に終える事が出来ました。

平成最後の三月一日の入会式では二七三名が同窓会員となり、さらに四月八日には二一四名の新入生が中央高校生として入学されました。今年度より総合科が更に一学級削減となり創立時の八クラスから六クラスと二十年の間に生徒数が減少し少々寂しい感じは否めません。庄内地区だけでも統廃合と学級削減が続いている現状から、少子高齢化の影響を実感します。

五月からは、年号も変わり「令和」となりました。万葉集を引用したもので「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」と言う意味が込められているそうです。新しい時代も平和で過ごせるように多くの人が願っていると思われれます。平成から二十年間築かれてきた素晴らしい学習環境や生徒達の活躍は、脈々と新時代にも受け継がれて行く事でしょう。

黎明同窓会として、創立二十周年記念に合わせ初めて名簿を作成し発行致しました。学校にまだ在庫が充分にありますので、購入を逸してしまわれた方は、この機会にお手元に一冊名簿を置いて想い出を馳せて頂ければ幸いです。また、同窓会は新会員が入会し毎年増えています。また、同窓会には新会員が入会し毎年増えています。また、同窓会には新会員が入会し毎年増えています。また、同窓会には新会員が入会し毎年増えています。

最後に、本校の益々の発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

### 編集後記

五月の猛暑を体験し、六月に入って、例年通りの季節色を感じ、ほっと一息ついていきます。

「うるわしく平和に生きて行く願いがこもった……」新年号に変わり、やさしい響きに、すっと受け入れる事が出来た「令和」です。

表紙の写真は、創立二十周年の式典の様子です。これを機に応援旗が作られました。この旗の裏面には、在校生全員のメッセージが書いてあるそうです。

この度も同窓会だよりにご協力、御寄稿いただきまして皆様に、心より感謝申し上げます。

高嶋 記





# 「黎明」に寄せて

校長 遠田 達浩



四月から県立鶴岡中央高校校長として着任いたしました。元号が平成から令和に変わり、同窓生や地域・保護者の皆様との連携・協力を大切にしながら、教育活動を進めていくことがこれまで以上に必要であると考えております。同窓生の皆様には、ご支援の程よろしくお願いたします。

本校は、県や鶴岡市民の皆様からの大きな期待を受け、創立から二十一年の歴史を刻んできました。人間でいえば、まさにエネルギーに満ちあふれた時期になったといえます。

本校の正面には、「今輝ける大志を求めて」立志・気づき（自主自立）・共生」という本校のスローガンが掲げられています。この「立志・気づき・共生」の三つの言葉を創立二十周年に際し、正式に校訓といたしました。高校生の時代に「志」を立て、目

標に向かって力の限り頑張ること、自身の行動を振り返り改善すべき点を考えると同時に周囲の人への気遣いを身につけること、今の自分があるのは家族や地域の方々の支えがあつてであり、高校三年間のうちにふるさと庄内のすばらしさを再確認することを期待した校訓であると考えています。

山・川・海、四季折々の大自然、おいしい食べ物、豊かで温かい人情・このような環境で育った人間の感性は本物のはずです。

高校時代の一分一秒が、何ものにも代え難い貴重な時間であることを意識し、悔いのない、充実した人生の一ページを鶴岡中央高校で刻んでほしいと願うと同時に、グローバルな視点で物事を考えつつ、ローカルに活動することができ、そのような生徒を育成していきたいと考えております。



高橋 秀典 先生

## よりどころ

平成八年に赴任した鶴岡西高校には、下池を二周するマラソン大会がありました。大山公園の坂登りは声も出ないほど苦しかったのですが、追い抜いていく生徒からの励ましの声に元気づけられました。また、坂を登った後の下池周りの森の散策路では、優しい風に癒やされました。懐かしい思い出です。

統一一年目の平成十年は事務科三年担任、翌年は家政科三年担任となりました。事務科と家政科は在校生の卒業をもって閉科と決まっていた。科の伝統を受け継ぐ後輩がいないことに生徒も寂しい思いをしていたと思います。閉科と向き合うことで自らが所属する学科への誇りや愛着が増した生徒は、様々な場面で「有終の美を飾ろう」と声を掛け合いながらクラスの雰囲気盛り上げ活動していました。その姿は頼もしいものでした。また、統一二年目には、生徒会誌の「翼」命名や球技大会にクラス対抗リレー新設等、新しい学校の礎となるものが芽生えました。そこでは、統一というそうそう経験することのない学校生活をも謳歌し、力強い足跡を残す生徒との出会いがありました。

私にとって、学校での思い出は心のよりどころであり、当時の生徒や同僚と再会すれば懐かしい記憶もよみがえり、若返り？元気をいただいています。卒業生のみなさん、同窓の繋がりを広げ深め楽しんでください。



藤井 健司 先生

## 家政校の思い出

今家政校を振り返ると、まずは学校祭が思い出されます。一年家政科のクッキー作りでは、そのおいしさに舌鼓を打ったことやつまみ食いを防ぐための方策がとられていたことを覚えています。またその学校祭では、三年被服科のファッションショーが特に印象的でした。私は内心、紙でドレスを作れるか疑っていましたが、完成したドレスはまさに圧巻でした。

部活動はバドミントン部の担当で、生徒に恵まれ優秀な成績を残すことができ、私にとってはいい経験でした。その練習場所は今は無くなっている小体育館でしたが、隣の新体操部の太鼓の音が夢の中に出てきたこともありました。

また私は三年で中央高校に統合される普通科を担任しましたが、その普通科には家政校ではめずらしかった男子生徒がいました。先日、その一人と偶然再会することができ、短い時間でしたが近況を聞くことができました。機会があれば、ぜひ一献傾けたいものです。

定年まで残り三年の今、時々今までの教員生活を振り返るときがありますが、家政校の七年間は生徒との多くのよき思い出に満ちているとともに、お世話になった先生方との出会いが、その後の私の教員生活を支えるかけがえのないものになったと懐かしく振り返っています。

# 総会に参加して

## 気持ちちは高校生



平成11年中央高卒 日向 牧子

鶴岡中央高校、第一期生。それは、平成十一年卒の私達にずっとついて回る言葉で誇らしくもあり、見えないプレッシャーでもあり……。

今年の総会は、初めて中央メンバーのみの当番幹事。というつもりでしたが、十一年卒・二十年卒ということ、年令的に結婚・出産・育児、会社では中堅層という多忙を極める年頃ということもあり、総会への参加率は低かったものの、多くの担任の先生方が来てくださり、出席したメンバーはなつかしい顔ぶれで一瞬で高校生に戻った気持ちになれました。

総会の中で、後輩達の活躍の話も聞くこともでき、とても嬉しく思います。

久しぶりにお会いした常任理事の方から、「忙しいでしょ？」と気にかけて頂いたり、優しさにふれる場面もあり、忙しくても参加して良かったと思えました。

中央高校のご活躍と黎明同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 同窓会に参加して



平成20年中央高卒 齋藤 雄太

高校生活はとてまかけがえない時間でした。僕なんかは少し面倒見がいくらいでなんの取り柄もない少年でしたが、同じ総合学科のやつらはなかなか味の

あるやつらで、くだらないことばかりしていましたが毎日楽しかったです。

あれから十年。同窓会をやらなきゃと思っていた矢先、ハガキが来ていたことでした。やつらに相談すると、もちろん参加だろと。

そんなに参加する人いるかと思いましたが当日、先生の方が多いくらいでした。それでも久しぶりに先生方と会うことができ昔を思い出した、懐かしい気持ちになりました。

僕もやつらも少し大人になって、お酒も交えて先生方と話をし、とても楽しい時間を過ごすことができました。この度はこの様な場を設けていただき、役員の皆様にはとても感謝しています。本当にありがとうございます。

また僕は、就職を期に地元を離れ、現在は千葉にいます。それでも、鶴岡中央高校のため、地元のため、

黎明同窓会のためにできることがあれば、貢献できるようにしたいです。同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。そして、これを見ている

二十年卒の同級生達。同級生全員、先生方にも声をかけて同窓会がしたいです。みんなでお酒を飲みましょう！よろしく！





# 卒業生の思い出

## 高校生活を通して



平成 31年  
中央高卒  
遠藤 有華

私の高校生活は、非常に充実した時間であり、一瞬で三年間が過ぎていききました。中央祭・球技大会・修学旅行……楽しい思い出もあれば辛かった思い出もたくさんあります。思い出が思い出された。その中でも二大行事である中央祭は特に楽しく、友人と撮った写真やクラス全員で踊ったダンス発表の動画を見て、今でも多くの元氣や力を貰います。土曜日の休日補習や部活など様々なところで励まし合い、助け合いながら乗り越えて来たことは、今の自分

の強みになっていいると思えるからです。また、忍耐力を養うことができ、精神的にも成長することが出来た高校生活だったと思います。

私は大学へ進学し、一人暮らしをしています。新しい環境で慣れないことも多く大変ですが、私の目標とする「なりたい自分」になるために頑張り始めたばかりです。高校で得たことはもちろんですが、また新たに知識を得て成長していきたいと思えました。そして成長した姿で鶴岡に帰り、高校時代の友人達に会いたいです。



## 出会い



平成 31年  
中央高卒  
奥山 舞

高校生活三年間は、楽しさと忙しさであつという間に過ぎました。勉強、部活、文化祭、日常的な出来事や行事も楽しく過ごすことができたのは友人達のおかげです。高校に入って縁あつて多くの方々と出会うことができました。クラスメイトや部員のみんな、コーチや先生方、私はこの方々がいなければ高校生活を楽しく過ごすことができなかったと思います。昼休みにバスケをしたり、廊下を走り回ったり、お昼ご飯を一緒に食べたり……そんな毎日が私にとって全部思い出です。それと同時に部活動では

## 三年間の思い出



平成 31年  
中央高卒  
阿部 零治

鶴岡中央高校で三年間学び、たくさん思い出があ

練習漬けの日々で忙しく、うまくいかない事も多かったけれど、部員のみんなと協力して乗り越え最後まで全力で取り組むことができました。高校で出会えた方々のおかげで充実した学校生活を送ることができ、楽しさや苦しさも共有し、共に励まし合いながら三年間を過ごせました。これからも高校で出会えた友人や先生方などを大切に、関係を続けていきたいです。日頃から出会いに感謝し周りの人を大切にしながら過ごすことは本当に大事だと学ぶことができました。また同窓会でお会いしましょう。

一年生の時は、慶応義塾大学先端生命科学研究所で高校生助手として参加しました。滅多にできない体験だったので良い経験になりました。二年生の時は、修学旅行で班と共に京都の名所をまわったのが思い出です。修学旅行で行った県は、私は一度も行ったことがない県だったので、印象に残りました。三年生の時は、中央祭が良い思い出です。ダンス発表があり、クラスの間で協力してダンスの練習をやりました。本番でもクラスの間で協力してしっかりと踊ることができました。また、鶴岡中央高校が創立二十周年をむかえました。創立記念式典では、全校で県民歌「最上川」を歌ったことが印象に残りました。高校での三年間、自分自身の成長も遂げることができました。特に勉強で互いに競え合える友達がいた

ので、しっかり勉強に取り組むことができました。高校での三年間は、いろいろな思い出があり、経験ができたので充実した生活を送れたと思います。私は今、県外の大学に通っています。これからも勉強を頑張っていきたいと思っています。

## 感謝



平成 11年  
中央高卒  
五十嵐 玲子

当時の学び舎は、大山にあった旧西高校で、自然豊かな環境のなかのんびりと過ごし、最後の一年間を新校舎で過ごしました。高校三年間を二つの校舎で過ごせたことはとても貴重な経験だったと思います。それから約二十年後まさか自分が母校で働くことになるとは夢にも思わず、更に創立二十周年の節目の年に働かせていただけたこと

は、とてもありがたいことです。

高校生だった当時の私はただぼんやりと自分のことだけを考えて学校生活を送っていました。社会に出て親の立場となって、改めて教職員の皆様、同窓会はじめ関係団体の皆様、地域の方々のあたたかい支援があつたからこそその三年間だったと改めて気づくことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

中央高校に勤務し、同窓会の運営に携わることで、同窓生として改めて歴史や想いをつないでいくことの大切さや、在校生が安心・安定できる高校生活を送れるような支えになりたいと思えました。

私自身も中央高校の一期生として誇りをもって、毎日の生活を大切にしていきたいです。

お世話になりました皆様、本当にありがとうございます。

## よき出会いに感謝



昭和 47年  
家政高卒  
佐藤 登貴江

私の高校生活での思い出は、部活とクラスの仲間です。部活は合唱部を選択、清らかなハーモニーの女性三部合唱の魅力にどんどん惹き込まれ、部活後も帰り道が一緒の友と道路・汽車の中でも口ずさむ毎日でした。そんな中でも「歌劇」に取り組ませていただいたことは印象深く残っています。顧問は伊比先生。楽しかった。

そして女子だけの四十八名の個性際立つ仲間のクラス。その仲間とのクラス会は卒業と同時に開催。今も継続中。学生の頃よりもさらに輝き増した個性の元に集う友人達は「家政高校を選んで良かった」と言葉にしています。簿記・珠算・調理に被服・普通教科と盛りだくさんでしたが全てが

即社会、家庭生活に生かされています。

よき学び舎・よき友との出会い、そしてよき恩師との出会いに感謝です。我が三年五組のクラス会には、今は亡き渡部繁子先生も米沢から車で駆けつけて下さり、地元の地主先生も現在も出席して下さいます。そして時には校歌を合唱。

これからも母校に誇りをもち、人と人とのつながり。一日一日を大事に年を重ねていきたいと思えます。

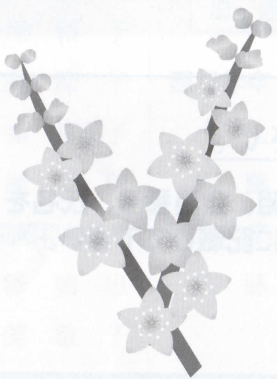
## 思い出



昭和 42年  
西高卒  
松田 清治

同級生から原稿の依頼があり何気なく返事をしたもののいざ書こうと思うと何を書いたらと苦戦しております。高一の時の新潟地震は良く覚えています。特に大山地区が大変な事になって自転車で急いで家に帰っ

た覚えがあります。あの頃は雨の日も自転車で通学していました。今は家の人が送り迎え50年もたつと変わりましたね。自分は高校生の頃は将来の事など考えずに平々凡々と送っていました。あれから50年すこし経ちました。去年何十年ぶりに商業科の同窓会があり参加してきました。最初分からなかったけど話してうちに判った。女の方は半分位は判らずに終わりました自分も含めそれ相応に年重ねたと思えました。これからも健康に気を付けて頑張りたいと思えます。





# 平成30年度 会費納入者芳名簿

旧如蘭支部	家高18回昭和41年卒	西31年卒	佐々木 成	西60年卒	日向 牧子
二高女3回昭和25年卒	家高20回昭和43年卒	西34年卒	富樫 秀雄	榎本 陽一	藤江 智聡
阿部 春子	佐々木 陽子	斎藤 忠男	西45年卒	松田 美栄	本間 美のり
四高2回昭和25年卒	中川 涼子	高橋 義博	西61年卒	奥泉 公志	宮崎 久美子
五十嵐 晴美	家高21回昭和44年卒	西37年卒	菅原 眞一	黒崎 浩矢	安野 亮平
織戸 富	立石 たけ子	日下部 藤祐	西46年卒	佐藤 徹	中央平成20年卒
田卷 和子	門脇 律子	佐藤 昇	板垣 温子	井上 和歌奈	板垣 里奈
家高3回昭和26年卒	家高23回昭和46年卒	西38年卒	上林 幸	中央高校	伊藤 伸
菅原 豊美	富樫 洋子	池原 清二	齋藤 仁幸	中央平成11年卒	榎本 滯
家高6回昭和29年卒	孫田 孝子	佐藤 丈六	成田 光雄	阿部 由香里	大沼 友樹
笹原 悦子	家高24回昭和47年卒	西39年卒	渡部 耕二	阿部 裕子	齋藤 直輝
家高10回昭和33年卒	佐野 早智子	石川 良也	中央平成11年卒	阿部 吉成	齋藤 雄大
小野田 文子	三村 妙子	遠見 昌圀	阿部 由香里	飯野 喜広	鈴木 隆平
家高12回昭和35年卒	家高31回昭和54年卒	齋藤 勝元	阿部 裕子	五十嵐 寿行	和田 吉孝
石川 幸	川越 由美	西41年卒	阿部 吉成	五十嵐 優希	中央平成21年卒
井上 節子	家高33回昭和56年卒	五十嵐 一利	飯野 喜広	五十嵐 玲子	佐藤 叶望
草野 恵子	小山田 真生	佐藤 まさ子	五十嵐 寿行	石川 和司	田中 翔太郎
工藤 宣子	家高36回昭和59年卒	富樫 貞夫	五十嵐 玲子	石塚 結	中央平成24年卒
黒崎 幹子	小玉 節	西42年卒	石川 和司	今井 藍	板倉 滉
斎藤 宣子	佐藤 真由美	里 義信	石塚 結	上野 誠	須藤 晴紀
家高13回昭和36年卒	丸山 千賀	佐藤 美愛	今井 藍	太田 勇史	中央平成28年卒
尾崎 光子	家高44回平成4年卒	高田 正明	上野 誠	岡山 歩生	小関 森陽
家高14回昭和37年卒	佐藤 悦子	田澤 あき子	太田 勇史	後藤 愛沙	中央平成29年卒
高野 俊	家高46回平成6年卒	松浦 繁子	後藤 愛沙	齋藤 渚	板倉 舜
家高15回昭和38年卒	鈴木 友香	松田 悦子	齋藤 渚	佐藤 杏	齋藤 美奈
佐藤 よし子	家高50回平成9年卒	西43年卒	佐藤 杏	佐藤 織江	佐藤 若菜
家高16回昭和39年卒	上林 泉	岡田 茂	佐藤 織江	白幡 陽平	宮野 晃
梅木 康子	旧西高	斎藤 好信	佐藤 良美	菅原 剛広	中央平成30年卒
大塚 和子	西28年卒	高嶋 恵	白幡 陽平	菅原 裕美子	遠藤 香蓮
小鷹 節子	小松 金悦郎	半澤 正昭	菅原 剛広	高橋 勇一	佐藤 綾乃
佐藤 喜美子	佐藤 憲二	松下 美知子	高橋 勇一	忠鉢 智子	橋本 将矢
広瀬 多美	西29年卒	村瀬 友美子	忠鉢 智子	長谷川 いづみ	宮野 歩
家高17回昭和40年卒	佐藤 勝士	西44年卒	長谷川 いづみ		
黒澤 朝恵	伊藤 文夫	伊藤 文夫			
薩美 敏子	大瀧 比登志	大瀧 比登志			

# 平成30年度 寄付者芳名簿

旧如蘭支部	旧西高	中央高校	旧職員	現職員
五十嵐晴美 1,000円	五十嵐一利 3,000円	五十嵐玲子 3,000円	五十嵐留美 2,000円	
石川 幸 1,000円	遠見 昌圀 3,000円	板倉 滉 1,000円	池田 努 2,000円	
井上 節子 1,000円	日下部藤祐 1,000円	板倉 舜 1,000円	河川 昭俊 2,000円	
梅木 康子 1,000円	小松金悦郎 1,000円	小関 森陽 115円		
門脇 律子 1,000円	齋藤 勝元 8,000円	宮野 歩 1,000円		
草野 恵子 1,000円	斎藤 忠男 3,000円			
黒崎 幹子 2,000円	斎藤 仁幸 3,000円			
黒澤 朝恵 1,000円	斎藤 好信 2,000円			
小鷹 節子 3,000円	佐々木 成 1,000円			
笹原 悦子 1,000円	佐藤 憲二 3,000円			
佐藤真由美 3,000円	佐藤 丈六 2,000円			
菅原 豊美 3,000円	高嶋 恵 2,000円			
田卷 和子 1,000円	高橋 義博 1,000円			
富樫 洋子 2,000円	田中 俊彦 3,000円			
広瀬 多美 3,000円	半澤 正昭 10,000円			
		榎本 弘 2,000円		
		岡部あけみ 2,000円		
		庄司 吉郎 2,000円		
		高橋 秀典 2,000円		
		滝川 美穂 2,000円		
		富樫 晃 2,000円		
		日野 正晴 2,000円		
		藤井 健司 2,000円		
		榎 清彦 10,000円		
		松田 大樹 4,000円		

## — ありがとうございます —

### ※お詫びと訂正

黎明同窓会だより第21号(2018年7月10日発行)7ページの寄付者名簿の旧如蘭支部家高34回昭和57年卒に本間美加と記載しておりますが、正しくは旧西高昭和57年卒となります。皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

姓・住所など変更のあった時は是非下記までお知らせ下さい。

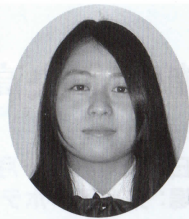
〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国410  
 鶴岡中央高等学校黎明同窓会事務局 宛  
 TEL 0235-25-5723  
 TAX 0235-25-5733

★卒年、組、会員番号、氏名を  
 忘れずに記載して下さい。

平成31年3月卒業  
 273名  
 全員納入



# 学校PR



鶴岡中央高等学校  
生徒会長  
鈴木 琉華

鶴岡中央高校は今年度入学生より普通科三クラス、総合学科三クラスの計六クラスとなり、また系列も国際交流系列を募集停止として新年度がスタートしました。しかし先日は人数の減りを感じさせない活発な生徒総会が行われ、今は六月末にひかえた中央祭に向けて各クラス一丸となって準備に取り組んでいます。

令和元年度後期生徒会スローガンは「漸心(ぜんしん)」で、現状に満足せず悪い所は斬り、常に向上心を持って前進すべく生活してほしいという意味を込めて生徒会で漢字をあて、熟語を考えました。このスローガンのもと挨拶活動等を行いよりよい中央高校を作りたいと思っています。



天魄太鼓

創立二十周年記念式典のオープニング



シルクガールズのぞみの園

荘内日報 平成31年2月17日掲載



シルクフォーラム

荘内日報 平成30年8月30日掲載



ひと・白鷺社賞 齋藤鷹

荘内日報 平成30年9月12日掲載

## 関東支部だより



関東支部長  
齋藤 仁幸

昨年十月二十八日、鶴岡中央高等学校創立二〇周年記念行事に黎明同窓会関東支部代表として出席しました。会場はオープン間もない荘銀タクトで、初めての入館となりました。

慶應義塾大学先端生命科学研究所所長・富田勝氏による「中央高校の二〇年と慶應先端研の十八年」の演題で講演がありました。

多岐にわたる研究分野に中央高生が積極的に関わり、成果を上げていく報告がされ、生徒一人ひとりを誇らしく、又、愛おしく思いました。その後披露された天魄太鼓には圧倒されつ放しでした。演者が皆活き活きとし、楽しそうに演奏している姿を見て思わず胸が熱くなりました。

校訓「立志・気づき・共生」の教えが、生徒に整然と吸収され展開されている結果だと思います。

創立二〇年。もう二〇年？未だ二〇年？「一〇年ひと昔」インフラの目覚ましい進歩か



黎明同窓会卒業生 関東支部「同窓生のつどい」

## 平成30年度 一般会計決算書

自平成30年6月1日  
至令和元年5月31日

### 【収入の部】

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 入会金	1,380,000	1,365,000	△ 15,000	平成31.3卒 273名 × 5千円
2 年会費	952,000	850,000	△ 102,000	平成31.3卒 273名 × 2千円 平成30年度 304,000円
3 寄附金	100,000	118,115	18,115	
4 繰越金	2,683,769	2,683,769	0	前年度繰越金
5 雑収入	231	19	△ 212	利息
合計	5,116,000	5,016,903	△ 99,097	

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
1 運営費	1,310,000	876,254	△ 433,746	
(1) 事務費	250,000	85,308	△ 164,692	総会用宛名ラベル印刷代 7000円 会報発送用データ入力、封筒代 7.8万円
(2) 事務委託費	390,000	358,758	△ 31,242	団費職員賃金
(3) 備品費	5,000	0	△ 5,000	
(4) 通信費	200,000	173,171	△ 26,829	ハガキ・切手代
(5) 会議費	300,000	155,547	△ 144,453	総会 10.8万円 各種役員会等 4.7万円
(6) 旅費	135,000	79,000	△ 56,000	関東支部出席 2.3万円*2名 3.3万円*1名 学校1名 同窓会2名 →参加費1万円*1名 交通費(鶴岡~東京都内) 23万円*3名
(7) 雑費	30,000	24,470	△ 5,530	入会式生花 1.5万円 ゆうちょ銀行払込料金等 9400円
2 事業費	971,000	704,748	△ 266,252	
(1) 会報発行費	680,000	447,866	△ 232,134	印刷費 26万円 会報発送料 18.8万円
(2) 卒業記念品費	126,000	123,750	△ 2,250	卒業記念品(証書ホルダー)
(3) 後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(4) 同窓会開催祝金	30,000	0	△ 30,000	
(5) 慶弔費	5,000	5,592	592	慶弔電報等
(6) 広報費	30,000	27,540	△ 2,460	総会案内広告費
3 基金積立金	2,800,000	2,800,000	0	
(1) 基金積立金	300,000	300,000	0	基金積立金
(2) 財政調整基金	2,500,000	2,500,000	0	財政調整基金積立金
4 雑費	25,000	21,925	△ 3,075	関東支部開催祝金等 1.6万 卒業生を祝う会費 5,500円
5 予備費	10,000	0	△ 10,000	
合計	5,116,000	4,402,927	△ 713,073	

収入 5,016,903円 - 支出 4,402,927円 残金 613,976円を次年度へ繰越

## 平成30年度 各特別会計決算書

自平成30年6月1日  
至令和元年5月31日

### 1 基金積立金特別会計決算書

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	1,786,503	1,786,503	0	積立金残金
2 積立金	300,000	300,000	0	
3 雑収入	497	11	△ 486	預金利息等
合計	2,087,000	2,086,514	△ 486	

### 【支出の部】

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
1 負担金	1,500,000	1,500,000	0	創立20周年記念事業負担金
合計	1,500,000	1,500,000	0	

収入 2,086,514円 - 支出 1,500,000円 = 差引残金 586,514円 次年度へ繰越

記録 ※平成20年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出  
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出  
※平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

### 2 環境緑化・施設整備協力金特別会計決算書

#### 【収入の部】

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	2,858,279	2,858,279	0	協力金残金
2 協力金	276,000	273,000	△ 3,000	平成31.3卒業生273名×1,000円
3 寄附金	0	0	0	
4 雑収入	721	24	△ 697	預金利息
合計	3,135,000	3,131,303	△ 3,697	

#### 【支出の部】

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入 3,131,303円 - 支出 0円 = 差引残金 3,131,303円 次年度へ繰越  
※協力金は平成18年3月卒業生から一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 サッカーグラウンド整備に100万円支出  
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等に124,884円支出

### 3 財政調整基金積立金特別会計

#### 【収入の部】

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 積立金	2,500,000	2,500,000	0	一般会計より繰入
2 雑収入	1,000	0	△ 1,000	預金利息等
合計	2,501,000	2,500,000	△ 1,000	

#### 【支出の部】

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入 2,500,000円 - 支出 0円 = 差引残金 2,500,000円 次年度へ繰越